

厚生労働大臣様

新潟大学医歯学総合病院
昌山

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告しま
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10号)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11号)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	50.75人
--------	--------

- (注) 前年度の研修医の実数を記入すること。
- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12号)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13号)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業員の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	448人	35人	457.9人	看護業務補助者	8人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	185人	0人	185.0人	理学療法士	7人	臨床検査 衛生検査	臨床検査技師 60人
薬剤師	35人	0人	33.0人	作業療法士	4人		衛生検査技師 0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	2人		その他 1人
助産師	30人	0人	30.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	608人	30人	627.8人	臨床工学技士	4人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	6人	4人	10.3人	栄養士	0人	その他の技術員	19人
歯科衛生士	9人	4人	12.0人	歯科技工士	6人	事務職員	126人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	33人	その他の職員	14人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。
- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	691.2人	31.6人	722.8人
1日当たり平均外来患者数	1,449.8人	610.9人	2,006.7人
1日当たり平均調剤数	1,243 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨, 頭蓋骨の観血的移動術	有(無)	0人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有(無)	人
・溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法	有(無)	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有(無)	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有(無)	人
・人工中耳	有(無)	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有(無)	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有(無)	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有(無)	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有(無)	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有(無)	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有(無)	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有(無)	人
・Open MRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するYag Laserによる経皮的椎間板減圧術	有(無)	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有(無)	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有(無)	人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有(無)	人
・SDI法による抗癌剤感受性試験	有(無)	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有(無)	人
・栄養障害型表皮水泡症のDNA診断	有(無)	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有(無)	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有(無)	人
・マススペクトロメリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有(無)	人
・抗癌剤感受性試験	有(無)	人
・子宮頸部前癌病変のHPV-DNA診断	有(無)	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有(無)	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有(無)	0人
・画像支援ナビゲーション手術	有(無)	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有(無)	人

・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・成長障害のDNA診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・生体部分肺移植術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・腫瘍骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	3人
・ミトコドリア病のDNA診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・悪性黒色腫，乳癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	0人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・神経変性疾患のDNA診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・脊髄性筋萎縮症のNA診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・固形癌に対する重粒子線治療	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全敵術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・カフェイン併用化学療法	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・ ³¹ P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・固形腫瘍（神経芽腫）のRNA診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
・臍腫瘍に対する腹腔鏡補助下臍切除術	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人

・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験 (CD-DST法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・頚椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞(CD陽性細胞に限る)による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・副甲状腺内活性型ビタミンD (アナログ) 直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍（組織）を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍（組織）及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱患者数
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	21人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・歯周組織再生誘導法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
・X線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用によるう触除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻咽喉領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	0人
眼底三次元画像解析	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	0人
CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	79人	・ウィリス動脈輪閉塞症	78人
・多発性硬化症	41人	・ウェゲナー肉芽腫症	11人
・重症筋無力症	84人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	63人
・全身性エリテマトーデス	304人	・多系統萎縮症	24人
・スモン	6人	・表皮水泡症（結合部型及び炎症型）	1人
・再生不良性貧血	24人	・膿泡性乾癬	5人
・サルコイドーシス	153人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・原発性胆汁性肝硬変	48人
・強皮症，皮膚筋炎及び多発性筋炎	217人	・重症急性膵炎	9人
・特発性血小板減少性紫斑病	46人	・特発性大腿骨頭壊死症	88人
・結節性動脈周囲炎	27人	・混合性結合組織病	37人
・潰瘍性大腸炎	214人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	41人	・特発性間質性肺炎	7人
・ピュルガー病	20人	・網膜色素変性症	30人
・天泡瘡	33人	・プリオン病	3人
・脊髄小脳変性症	53人	・原発性肺高血圧症	12人
・クローン病	71人	・神経線維腫症	21人
・難治性肝炎のうち劇症肝炎	7人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	10人	・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	4人
・パーキンソン病関連疾患	78人	・特発性慢性肺血栓塞栓症（肺動脈型）	2人
・アミロイドーシス	13人	・ライゾーム病 プリー（Fabry）病	10人
・後縦靭帯骨化症	37人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・ハンチントン舞踏病	2人		

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討の開催頻度	1週間に1回程度 1ヶ月に4回程度	
解剖の状況	解剖症例数 23 例	剖検率 8.2 %

(様式11)

高度先進療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助金の実績

研 究 課 題	研究者名	所属部門	金 額	補助元又委託元
体外増幅赤芽球を用いた血管新生治療の基礎研究と臨床治験	鳥羽 健	第一内科	千円 600	補 文部科学省科 委 学研究費基盤 研究 (C)
エリスロポエチン誘導体を用いた血管再生心筋保護に関する基礎研究ならびに臨床治験	加藤公則	第一内科	2,400	補 文部科学省科 委 学研究費基盤 研究 (C)
骨髄細胞移植による難治性血管炎への血管再生医療に関する多施設共同研究	相澤義房	第一内科	3,750	補 厚生労働科学 委 学研究費基盤 研究
腎糸球体障害エフエ庫クター分子の同定	小川 麻	第二内科	1,900	補 文部科学省科 委 学研究費若手 研究 (B)
糸球体障害時における接着阻害因子ポドカリキシンの糖鎖調節とアダプター蛋白の役割	武田徹朗	第二内科	2,600	補 文部科学省科 委 学研究費基盤 研究 (C)
長期透析に伴う各種合併症の分子遺伝的発症機序解明	下條文武	第二内科	1,100	補 文部科学省科 委 学研究費基盤 研究 (B)
腎機能障害と動脈硬化促進の共通因子探索のためのネットワークの構築	下條文武	第二内科	3,100	補 文部科学省科 委 学研究費基盤 研究 (C)
腎不全リスク推定システムに基づくオーダーメイド医療の確立	下條文武	第二内科	2,800	補 文部科学省科 委 学研究費特定 領域研究
間質性肺炎の急性増悪における凝固線溶系の関与	寺田正樹	第二内科	1,300	補 文部科学省科 委 学研究費基盤 研究 (C)
肝移植後の進行性C型肝炎再発における肝内自然免疫の関与の解明と新規免疫療法の開発	山際 訓	第三内科	2,100	補 文部科学省科 委 学研究費基盤 研究 (C)
うつ病の薬物治療反応性マーカーに関する分子薬理ゲノム研究	鈴木雄太郎	精神科	1,300	補 文部科学省科 委 学研究費若手 研究 (B)
統合失調症におけるサイトカイン・神経栄養因子遺伝子の解析	渡部雄一郎	精神科	2,400	補 文部科学省科 委 学研究費若手 研究 (B)
日本人統合失調症候補領域4q34における疾患遺伝子探索	竹村辰之	精神科	2,500	補 文部科学省科 委 学研究費基盤 研究 (C)

1 研究費補助金の実績

炎症細胞による糸球体 上皮細胞障害機序の解 明と診断への応用	池住洋平	小児科	600	補 委	文部科学省科 学研究費若手 研究 (B)
肝細胞癌におけるCE ACAM1発現欠失の機序 及びその臨床的意義	若井俊文	第一外科	1,700	補 委	文部科学省科 学研究費基盤 研究 (C)
腸上皮・線維芽細胞にお けるAng II 容体を介したco x-2発現シグナル伝達経路	谷 達夫	第一外科	1,300	補 委	文部科学省科 学研究費萌芽 研究
H01/C0シグナル伝達修 飾による肺動脈細胞細胞 増殖抑制効果に関する基 礎研究	高橋 昌	第二外科	1,300	補 委	文部科学省科 学研究費萌芽 研究
Adenovirusvectorを用 いた神経細胞および軸索 再生経路全長の研究	柴田 実	形成外科	1,700	補 委	文部科学省科 学研究費基盤 研究 (B)
視覚的大脳活動野モニタ リング法を用いた末梢神経 修復術後における機能回復 機序の検討	柴田 実	形成外科	1,900	補 委	文部科学省科 学研究費萌芽 研究
同種皮膚移植片拒絶反 応のメカニズムの解明	伊藤明子	皮膚科	1,100	補 委	文部科学省科 学研究費若手 研究 (B)
レシピエント骨髄細胞 移植によるドナー腎血管 内皮膚細胞再生と血管内 皮細胞キメラ誘導	齋藤和英	泌尿器科	1,500	補 委	文部科学省科 学研究費基盤 研究 (B)
最新の画像技術と眼球 運動解析を応用した視覚 系と眼球運動系の病態評 価法の開発	高木峰夫	眼科	800	補 委	文部科学省科 学研究費基盤 研究 (C)
アクアポリン-4の中樞 疾患への関与-視神経疾患 をモデルとした研究	阿部春樹	眼科	2,000	補	新潟県
ラット脊椎後角におけ る痛覚伝達機構の加齢に よる変化	岡本 学	麻酔科	700	補 委	文部科学省科 学研究費萌芽 研究
糖尿病ラット脊椎後角細胞 の可塑性変化の電気生理学 的解析	若井綾子	麻酔科	1,600	補 委	文部科学省科 学研究費若手 研究 (B)
吸入麻酔薬の脊髄にお ける鎮痛作用の解明	波江智恵子	麻酔科	1,000	補 委	文部科学省科 学研究費基盤 研究 (C)

1 研究費補助金の実績

吸入麻酔薬の脊髄における鎮痛作用の解明	波江智恵子	麻酔科	1,000	補委 文部科学省科学研究費基盤研究(C)
悪性脳腫瘍に対するTargeting thermo-chemotherapy	宇塚岳夫	脳神経外科	600	補委 文部科学省科学研究費萌芽研究
機能解剖学的解析による脳内てんかん原生ネットワークの解明とその診断手技の確立	大石 誠	脳神経外科	2,100	補委 文部科学省科学研究費基盤研究(C)
未解明遺伝性脊髄小脳変性症の臨床・分子遺伝学的解析	原 賢寿	神経内科	1,400	補委 文部科学省科学研究費基盤研究(B)
3テスラMRI/MRSを用いた多発性硬化症患者の脳白質・皮質の非侵襲的機能評価	寺島建史	神経内科	1,200	補委 文部科学省科学研究費若手研究(B)
進行性核上性麻痺PSPの発病に関連する17q21.31領域の遺伝子因子の解明	高野弘基	神経内科	1,400	補委 文部科学省科学研究費基盤研究(C)
アプラタキシン欠失による一本鎖核酸損傷修復障害と神経変性の関連についての解析	五十嵐修一	神経内科	2,200	補委 文部科学省科学研究費基盤研究(C)
糸球体上皮細胞に発現する新規メタロプロテアーゼ分子の機能解析	井口清太郎	地域医療教育支援コアステーション	1,900	補委 文部科学省科学研究費萌芽研究
感染・炎症における生体の恒常性維持に関する新概念の確立	中田 光	生命科学医療センター	1,700	補委 文部科学省科学研究費萌芽研究
歯原性角化嚢胞モデルとしてのMsx2ノックアウトマウスの顎骨嚢胞	鈴木 誠	病理検査室	2,000	補委 文部科学省科学研究費萌芽研究
心筋炎、拡張型心筋症におけるHMG-CoA阻害薬、スタチンの有用性について	伊藤正洋	救急部	800	補委 文部科学省科学研究費若手研究(B)
治験担当者のニーズに細かに対応できる多施設共同治験管理システムの開発	鳥谷部真一	医療情報部	6,000	補委 文部科学省科学研究費基盤研究(B)

1 研究費補助金の実績

特発性肺胞蛋白症において抗サイトカイン自己抗体はなぜ増加するのか？	中田 光	生命科学医療センター	15,600	補委 文部科学省科学研究費基盤研究 (B)
波長分散型X線マイクロアナライザーと免疫組織化学を用いた間質性肺炎の病理学的検討	鈴木榮一	医科総合診療部	700	補委 文部科学省科学研究費基盤研究 (C)
肺癌の根絶可能な同種移植片拒絶反応を応用した新規治療法の開発	吉澤弘久	生命科学医療センター	800	補委 文部科学省科学研究費基盤研究 (C)
血小板機能の制御ー血小板シグナル伝達異常症の病因解析からのアプローチ	布施一郎	生命科学医療センター	1,300	補委 文部科学省科学研究費基盤研究 (C)
骨髄不全患者で検出された新たな抗原蛋白の造血障害発症メカニズムとの関連性の解析	古川達雄	高密度無菌治療部	2,200	補委 文部科学省科学研究費基盤研究 (C)
小細胞肺癌患者に誘導された免疫寛容打破を目的とした画期的抗腫瘍免疫療法の開発	各務 博	生命科学医療センター	2,200	補委 文部科学省科学研究費基盤研究 (C)

1 研究費補助金の実績

研 究 課 題	研究者名	所 属 部 門	金 額	補 助 元 又 委 託 元
ゲノムワイド関連解析を応用した歯周病感受性遺伝子検索システムの確立	小林哲夫	歯科総合診療部	千円 900	補 文部省科学研究費基盤研究委 (C)
生体親和性修復材料開発のための天然歯隣接面の生理的摩耗と咬合力に関する研究	石崎裕子	歯科総合診療部	1,000	補 文部省科学研究費若手研究委 (B)
歯根膜をモデルとした細胞の感圧機構(メカノレセプター)に関する検索	魚島勝美	歯科総合診療部	2,100	補 文部省科学研究費基盤研究委 (B)
T細胞-抗原提示細胞の多様な相互作用が歯周病の病態を決定するか?	中島貴子	歯科総合診療	1,100	補 文部省科学研究費基盤研究委 (C)
成熟途上にある幼若永久歯における非侵襲的う蝕診断システムの確立	佐久間汐子	予防歯科診療室	500	補 文部省科学研究費基盤研究委 (C)
レーザー照射後の象牙質・歯髄複合体の修復再生過程の免疫組織化学的解析	重谷佳見	歯の診療室	1,300	補 文部省科学研究費若手研究委 (B)
ニッケルチタンファイルの切削特性-安全性・追従性の高い根管下部形成法の提示-	富田文仁	歯の診療室	1,900	補 文部省科学研究費若手研究委 (B)
口唇口蓋裂発生メカニズムとp53遺伝子依存性アポトーシスの先駆的研究	児玉泰光	顎顔面外科診療室	2,000	補 文部省科学研究費若手研究委 (B)
FcγRIIa遺伝子多型のサイトカイン産生への影響と歯周疾患について	山本幸司	歯周病診療室	1,900	補 文部省科学研究費若手研究委 (B)
齲蝕病巣に生ずる蛍光像の齲蝕診断法への応用に関する研究	岡本 明	歯の診療室	900	補 文部省科学研究費基盤研究委 (C)
唾液中フェニトイン濃度を用いた薬物性歯肉増殖症の発症機構に関する研究	佐野富子	小児歯科診療室	500	補 文部省科学研究費若手研究委 (B)
全身的骨粗鬆症と歯槽骨骨梁構造変化との関連性	田中みか子	義歯(入れ歯診療室)	1,000	補 文部省科学研究費基盤研究委 (C)
外科的矯正治療による心理・精神面と表情との変化の関連性に関する研究	寺田員人	特殊歯科総合治療部	500	補 文部省科学研究費基盤研究委 (C)

1 研究費補助金の実績

咀嚼・嚥下機能に関わる脳幹内介在神経の局在とその機能的役割に関する研究	井上 誠	摂食・嚥下機能回復部	1,300	補委	文部省科学研究費基盤研究(C)
凍結保存歯の歯周組織は再生するか	泉 直也	口腔再建外科診療室	800	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
顎関節症者の下顎頭骨形態変化の発症機構を下顎運動論と咬合論から解明する	細貝 暁子	義歯(入れ歯診療室)	600	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
顔面頭蓋の形態異常を伴うCL/Fr系マウスの顎関節の組織学的及び分子生物学的検討	安島久雄	顎顔面外科診療室	1,300	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
歯根膜線維芽細胞におけるGDF-5の特異的機能とシグナル伝達機構の解明	飯沢二葉子	小児歯科診療室	1,500	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
顎顔面非対称例におけるデザインパターンの設計と臨床応用	越知佳奈子	矯正歯科診療室	1,000	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
歯の形態形成におけるステロイド受容体の役割ーステロイド療法の歯への作用機序解明ー	河野承子	小児歯科診療室	1,000	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
抑制性T細胞の機能亢進による歯周疾患免疫療法の基礎研究	伊藤晴江	歯周病診療室	1,600	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
歯周炎における可溶性TNF受容体の解析	島田 靖子	歯周病診療室	1,300	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
下顎骨延長術の治療期間を短縮する	小林正治	口腔再建外科診療室	1,300	補委	文部省科学研究費基礎研究(C)
MMP-1遺伝子多型2Gアリルは口腔癌発症のリスクを増加させる	星名秀行	口腔再建外科診療	1,900	補委	文部省科学研究費基礎研究(C)
自家および他家移植実験を応用した歯髄分化能の解明	大島邦子	小児歯科診療室	2,400	補委	文部省科学研究費基礎研究(C)
高齢者の口腔疾患より構築する潜在的な精神疾患のスクリーニングシステムに関する研究	高野尚子	予防歯科診療室	700	補委	文部省科学研究費若手研究(B)

1 研究費補助金の実績

エストロゲンによる骨芽細胞の新たな調節機構—ギャップ結合に与える影響を解明する—	澤田 美穂	矯正歯科診療室	1,100	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
骨粗鬆症における下顎頭骨変化—咀嚼による機械的応用が骨構造に与える影響の解明—	渡邊 直子	矯正歯科診療室	1,100	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
細菌生死判定技術の確立とその応用	福田 敬	歯の診療室	600	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
骨格性下顎骨偏位症の下顎運動に随伴する頭部運動, 身体動揺と全身機能の関連の解明	山田 一尋	矯正歯科診療室	300	補委	文部省科学研究費基礎研究(C)
顎関節内障患者の顎関節はあそびが大きい	荒井 良明	顎関節治療部	700	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
ネットワークを活用した顎関節症、咀嚼・嚥下障害患者の総合的診断支援システム構築	櫻井 直樹	義歯(入れ歯診療室)	2,100	補委	日本学術振興会科研費基礎(B)
顎骨欠損部の骨再生を促進させる	小野由紀子	口腔再建外科診療室	600	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
歯科心身症で発症する身体症状への心理的因子の関与の立証とその定量的測定の試み	田中 裕	歯科麻酔科診療室	2,800	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
開鼻声と構音障害の消失過程における音響特性の定量的評価	寺尾恵美子	言語治療室	200	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
抗インシュリン作用改善に対する抗菌的歯周治療の長期有用性に関する無作為化比較試験	小川 祐司	予防歯科診療室	500	補委	文部省科学研究費若手研究(B)
高齢者の口腔乾燥と歯周病進行の関連に関する研究	廣富 敏伸	地域保健医療推進部	600	補委	文部省科学研究費若手研究(B)

計11

合計81

- (注) 1 国, 地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け, 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち, 高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は, 1つの研究について研究者が複数いる場合には, 主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は, 補助の場合は「補」に, 委託の場合は「委」に, ○印をつけた上で, 補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
日本アフェレシ ス学会雑誌. 200 6;25:210-216.	末梢動脈疾患に対する細胞治療に おける工夫、末梢単核球移植追加治 療とエリスロポエチン併用治療につ いて	加藤公則 他	第一内科
J Mol Cell Car diol. 2006;40:6 29-638	Erythroid cells play essential role s in angiogenesis by bone marrow cell implantation	Ozawa T, Toba K 他	第一内科
J Jpn Coll Angi ol. 2006;46:595 -601	Mechanism that underlie the angi ogenesis by bone marrow implant ation, and an application of eryth ropoietin for angiogenic therapy.	Kato K, Toba K, 他	第一内科
The Journal of L mmunology	Hydridynuc-Based Delivery of amcnt eleukin-22-1g Fusiun Gene Amelioraf es Exprimenfal Autoimmune Myocarait is in Rats	Haruo Han awa	第一内科
Rheumatology I nternational 2 006;26;1147-53 (平成18年10 月)	Outcome of patients with reactiv e amyloidosis associated with rh eumatoid arthritis in dialysis t reatment	Kuroda T akeshi (黒田 毅) 他	第二内科
Hypertens Res. 2 007 Mar;30(3):27 9-83. (平成19年3 月)	Leiomyosarcoma of the abdominal aorta: a rare cause of renovascular hy pertension	Iguchi S 他	第二内科
Exp Lung Res. 2 007 Mar;33(2):81 -97. (平成19年3 月)	ST2 gene induced by type 2 helper T cell (Th2) and proinflammatory cytotki ne stimuli may modulate lung injury and fibrosis lung injury and fibrosi s.	Tajima S, 他	第二内科
Am J Respir Crit Care Med. 2007 Jul 1;176 (1):70 -7. Epub 2 007 Mar 15. (平成19年3 月)	Two-dimensional analysis of elements and mononuclear cells in hard metal lung disease.	Moriyama H,他	第二内科
J Periodontol. 20 07Mar;78(3):467- 74 (平成19年3 月)	The combined genotypes of stimulator y and inhibitory Fc gamma receptors associated with systemic lupus erythe matosus and periodontitis in Japanese adults	Kobayash i T	第二内科

2 論文発表の実績

Intern Med. 2007 ;46(4):163-9. Epub 2007 Feb 15. (平成19年3月)	Isolation and immunophenotyping of mononuclear cells from human lung tissue	Shimizu T, 他	第二内科
Antiviral Res. 2007 Jul;75(1):75-82. Epub 2006 Dec 14. (平成19年12月)	Drug-resistant HIV-1 prevalence in patients newly diagnosed with HIV/AIDS in Japan.	Gatanaga H, 他	第二内科
Retrovirology. 2006 Dec 2;3:88. (平成19年12月)	Human T-cell leukemia virus type 2 Tax protein induces interleukin 2-independent growth in a T-cell line.	Kondo R, 他	第二内科
Lung. 2006 Nov-Dec;184(6):318-23. Epub 2006 Nov 3. (平成19年11月)	Preventive effect of Hochu-ekki-to on lipopolysaccharide-induced acute lung injury in BALB/c mice	Tajima S, 他	第二内科
J Hum Genet. 2007;52(1):66-72. Epub 2006 Oct 24. (平成19年10月)	ADAM33 polymorphisms are associated with aspirin-intolerant asthma in the Japanese population	Sakagami T, 他	第二内科
Kidney Int. 2006 Dec;70(11):1948-54. Epub 2006 Oct 11. (平成19年10月)	Expression of allograft inflammatory factor-1 in kidneys: A novel molecular component of podocyte	Tsubata Y, 他	第二内科
Rheumatol Int. 2006 Oct;26(12):147-53. Epub 2006 Sep 5. (平成19年9月)	Outcome of patients with reactive amyloidosis associated with rheumatoid arthritis in dialysis treatment	Kuroda T, 他	第二内科
Ther Apher Dial. 2006 Aug;10(4):316-20. (平成19年8月)	Current clinical aspects of dialysis-related amyloidosis in chronic dialysis patients	Saito A, 他	第二内科
Rheumatol Int. 2006 Nov;27(1):103-7. Epub 2006 Jul 8. (平成19年7月)	A case of Takayasu arteritis complicated with glomerulonephropathy mimicking membranoproliferative glomerulonephritis: a case report and review of the literature:	Kuroda T, 他	第二内科

2 論文発表の実績

Clin Exp Nephro 1. 2006 Jun;10(2) :136-9. Review. (平成19年6月)	Nephrotic syndrome and IgA nephrop thy in polycystic kidney disease.	Hiura T, 他	第二内科
Ther Apher Dial. 2006 Jun;10(3): 262-6. (平成19年6月)	Circulating osteoprotegerin affects b one metabolism in dialysis patients w ith mild secondary hyperparathyroidis m	Kazama J J,他	第二内科
Intern Med. 2006 ;45(9):615-9.Epu b 2006 Jun 1 (平成19年6月)	Analysis of the effect of surgical lung biopsy on serum KL-6 Levels in patie nts with interstitialpneumonia: surgica l lung biopsy does not elevate serum KL-6 levels	Narita J, 他	第二内科
Nat Med. 2006 J un;12(6):693-8. Epub 2006 May 7(平成19年5月)	Eradication of established tumors in mice by a combination antibody-based therapy	Uno T, 他	第二内科
Kidney Int. 2006 May;69(9):1626 -32.(平成19年5 月)	Etiology and prognostic significance of severe uremic pruritus in chronic h emodialysis patients	Narita I, 他	第二内科
Nephrol Dial Tra nsplant. 2006 Se p;21(9):2589-95. Epub 2006 Apr 2 7. (平成19年4 月)	Immunohistochemical evidence of acti vated lectin pathway in kidney allogr afts with peritubular capillary C4d de position.	Imai N,	第二内科
Kidney Int. 2006 May;69(10):179 2-8. (平成19年5 月)	Turbulence of glomerular hemodynam ics involved in progressive glomerulo sclerosis	Kawamur a K,	第二内科
Clin Rheumatol. 2006 Jul;25(4):4 98-505. Epub 20 05 Nov 3. (平成19年7月)	Long-term mortality outcome in patie nts with reactive amyloidosis associat ed with rheumatoid arthritis.	Kuroda T, 他	第二内科
Japanese Jotirnal of 7 (2) : 36 - 38 Helicobacter Research 2006	H. pylori感染における鉄収抑制ホルモン hePcidinの生産についての検討	佐藤祐 一、成深 林太郎	第三内科

2 論文発表の実績

Hepato - Gasroenterol 53 : 110 - 114 2006	Common clinicopathological Features of the Patients with Chronic Hepatitis B Virus Infection	Yasunori Tsuboi,	第三内科
Hepato - Gasroenterol 53 : 124-127 2006	Absence of Pre-treatment Markers that Predict the Emergence of YMDD Mutants during Lamivudine Treatment	M Yano , 他	第三内科
消化器の臨床9(2) :140-147 2006	EMRとESD施行にあたって一歩技の実際とコツ 食堂におけるEMR/ESD	竹内学他	第三内科
肝胆膵 52(4) :563-570 2006	PBC病態における自然免疫の関与	山際訓他	第三内科
臨床消化器内科 21(8) :1197-1202 2006	比較的若年の女性に起こった原因不明静脈閉塞症の1例	埜孝泰他	第三内科
Internal Medicine 45 :309-311 2006	A Primary Follicular Lymphoma of the Duodenum Treated Successfully with Radiation Therapy	Masaaki Takamura, 他	第三内科
新潟県医師会報 No. 679 2006	細胞周期調節因子1d-1/p27を指標にした肝硬変患者の発癌リスク予測診断システムの確立	松田康伸	第三内科
新潟医学会雑誌別冊 120(9) :518-5 2006	ムチンコア蛋白発現、p53蛋白過剰発現からみた大腸粘液癌の検討	丹羽恵子	第三内科
Journal of Hepatology 45 :254-262 2006	Increase of CD4 + CD25 + regulatory T cells in the liver of patients with hepatocellular carcinoma	Xiu Hua Yang, 他	第三内科
The Journal of Gene 8 : 623 - 635 Medicine 2006	Attenuation of mouse acute colitis by naked hepatocyte growth factor gene transfer into the liver	Takaya suhana wa , 他	第三内科
新潟医学会雑誌 120(10) :569-576 2006	蕨出 (sprouting/budding) の大腸sm癌リンパ節転移危険因子としての意義に関する免疫組織学的検討	橋本哲他	第三内科
Oncogene 1-10 2007	Multi - step lymphomagenesis deduced from DNA changes in thymic lymphomas and atrophic thymuses at various times after γ -irradiation	H Ohi, 他	第三内科

2 論文発表の実績

Oncogene 1-1 1 2007	Lack of Bcl 1b tumor supPessor results in vulnembility to DNA mplication stress and damages	K Kamimura, 他	第三内科
Biochemical and Biophysic al Research Communicati ons 355 : 538 - 542 2007	Haploinsufficiency of Bcl 1 b for suppressio n Of Lymphomagenesis and thymocyte deve lopment	Kenya Kamim ura, 他	第三内科
Dlg Dis S ci 52 : 995 - 1000 2007	Collagenous Gastritis : Endoscopic and Pat hologic Evaluation of the Nodularity of Gas tric Mucosa	Kenya Kamim ura, 他	第三内科
Life Scienes 80 : 1335 - 1 344 2007	An inhibitor of c-Jun NH2-terminal kinase, SP600125,. protects mice from D-galactosa mine/lipopolysaccharide-induced hepatic fa ilure by modulating BH3-only proteins	MasaakiTak amura ,他	第三内科
Internal Med icine 46 : 367 - 371 20 07	Decompensated Lamivudine - resistant Hep atitis B Virusrelated Cirrhosisfully with Adefovir Dipivoxil Allowing Surgery for He patocellular Caminoma	MasaakiTak amura ,他	第三内科
Journal of H epatology 47 :404-411	Altemd expssion of TLR homolog RP105 on monocytes hypersnsitive to LPS in Patient s with primary biliary cirrhosis	Yutaka Hond a, 他	第三内科
内科99(6) :11 56-1 166 200 7	肝胆降領域の悪性腫瘍ではかゆみが初発症状 となることがある	山際 訓 他	第三内科
Psychiatry Cli n Neurosci (平成18年4 月)	Clinical features and treatment outcome in Japa nese patients with social anxiety disorder: Chart review study	Shindo M, Sh ioiri T, Kuwa bara H, et al	精神科
J Affect Disor d (平成18年4 月)	Differences in characteristics between suicide vi ctims who left notes or not.	Kuwabara H, Shioiri T, Ni shimura A, et al.	精神科
Acta Psychiatr Scand (平成 18年6月)	Parietal white matter abnormalities in obsessive -compulsive disorder: A magnetic resonance spe ctroscopy study at 3-Tesla	Kitamura H, Shioiri T, Ki mura T, et al	精神科

2 論文発表の実績

Pharmacogenomics J (平成18年5月)	The effect of 5-hydroxytryptamine 3A and 3B T receptor genes on nausea induced by paroxetine	Sugai T, Suzuki Y, Sawamura K, et al.	精神科
BMC Public Health (平成18年5月)	Impaired psychological recovery in the elderly after the Niigata-Chuetsu Earthquake in Japan: A population-based study	Toyabe SI, Shioiri T, Kuwabara H, et al	精神科
Psychiatry Clin Neurosci (平成18年5月)	Association study of a functional promoter polymorphism of the X-box binding protein 1 gene in Japanese patients with schizophrenia	Watanabe Y, Fukui N, Muratake T, et al	精神科
Psychiatry Clin Neurosci (平成18年4月)	Attention-deficit/hyperactivity disorder and dissociative disorder among abused children.	Endo T, Sugiyama T, Someya T	精神科
Pharmacogenomics J (平成18年5月)	The effect of 5-hydroxytryptamine 3A and 3B receptor genes on nausea induced by paroxetine	Sugai T, Suzuki Y, Sawamura K, et al	精神科
Neuropsychopharmacology (平成18年4月)	Polymorphisms in the 5-hydroxytryptamine 2A receptor and CytochromeP4502D6 genes synergistically predict fluvoxamine-induced side effects in Japanese depressed patients	Suzuki Y, Sawamura K, Someya T	精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry (平成18年8月)	Gender differences in prolactin elevation induced by olanzapine in Japanese drug-naive schizophrenic patients	Sawamura K, Suzuki Y, Fukui N, et al	精神科
手術60 (2) 2006.	潰瘍性大腸炎に対する小開腹大腸全摘術	飯合恒夫	第一外科
臨床外科61 (13) : 1595 - 1599, 2006	直腸癌に対する低位前方切除術後の縫合不全の治療	飯合恒夫	第一外科
カレントセラピー24(6) : 541-544, 2006	潰瘍性大腸炎の外科的治療	飯合恒夫	第一外科
Surgery Frontier13(2) : 137-150, 2006.	門脈内抗原移入後の肝の免疫応答	佐藤好信	第一外科

2 論文発表の実績

Surg Today36 (4):354-60, 2006.	Management of major portosystemic shunting in small-for-size adult living-related donor liver transplantation with a left-	佐藤好信	第一外科
Virchows Arch. 2007;451:691-9.	Establishment of novel human dedifferentiated Establishment of novel human dedifferentiated chondrosarcoma cell line with osteoblastic differentiation	Kudo N, Ogose A 他	整形外科
Cancer Genet Cytogenet. 2007 15;176:156-60	Ossifying fibromyxoid tumor of soft parts with clonal chromosomal aberrations	Kawashima H, Ogose A 他	整形外科
脊柱変形 2006;21:88-92	神経線維腫症に合併した胸髄膜瘤により胸水貯留を呈した1例	佐藤剛、平野徹 他	整形外科
脊柱変形 2006;21:93-99	神経線維腫症1型に伴う脊柱変形に対する手術療法の検討	平野徹、佐藤剛 他	整形外科
Spine 2007;32:550-554.	Evaluation of postoperative residual spinal deformity and patient outcome in idiopathic scoliosis patients in Japan using the scoliosis research society outcomes instrument.	Kei Watanabe, Kazuhiro Hasegawa 他	整形外科
Biomaterials 2006; 27: 1542-1549	Histological assessment in grafts of highly purified beta-tricalcium phosphate (OSferion®) in human bones	Ogose A 他	整形外科
中部リウマチ 2006; 37: 94-95	関節リウマチの人工股関節，膝関節手術時における下肢静脈エコーを用いた深部静脈血栓予防のスクリーニング	荒井勝光 他	整形外科
整形外科 2007; 58: 457-462	人工関節置換術後のDVT予防プロトコールの有用性 一下肢静脈エコー・可溶性フィブリン値を参考にし-	山際 浩史 他	整形外科
Evidence-based spine surgery 2007; 3: 9	Clinical notes. Unilateral cervical facet dislocation	Ito, T.	整形外科
Journal of pediatric Surgery	reatment of a case with right-sided diaphragmatic hernia associated with an abnormal vessel communication between the reiated liver and the right lung.	Tanaka S Kubota M	小児外科

2 論文発表の実績

Acta Paediatr (平成18年4月)	Seasonality in the incidence of biliary atresia in Japan.	Nakamizo M, 他	小児外科
Pathol Int(平成18年10月)	Absence of human herpesvirus-8 and Epstein-Barr virus in inflammatory myofibroblastic tumor with anaplastic large cell lymphoma kinase fusion gene	amamoto H, 他	小児外科
Acta Med Biol (平成18年12月)	Peripheral CD5+B cells reflect regional immunity of the liver in pediatric cholestatic diseases	numa Y, Kubota M, 他	小児外科
医薬の門. 研究会記録, 特別号2006 春多 46:60-61(20064)	リンパ球の分化成熟と悪性リンパ腫分類	伊藤雅章	皮膚科
皮膚科学: DERMATOLOGY, 片山一朗, 土田哲也, 橋本隆盾江増隆, 渡辺晋一編集や文光堂, 東京, 701-707(2006.4)	皮膚結核および皮膚非結核性抗酸菌症	伊藤雅章	皮膚科
J Invest Dermatol, 126:1052-1058(2006.5)	NKG2D ligation without T cell receptor engagement triggers both cytotoxicity and Cytokine production in dendritic epidermal T cells	Nitahara A, 他	皮膚科
第48回全国美容師大会テキスト, 日本美容医学研究会刊(2006)	アトピー性皮膚炎とは	伊藤雅章	皮膚科
皮膚診療のコツと落とし穴: ④ 治療, 西岡清編, 中山書店, 東京, 2-3頁(2006.6)	インフォームド・コンセント患者が理解できる用語を使った診療	伊藤薫	皮膚科
Skin Cancer, 21(1):101-104(2006.6)	リンパ節転移を認めた悪性末梢神経鞘腫の1例	荻谷直之他	皮膚科
新潟市医師会報, 423号:2-5(2006.6)	皮膚科からみた口腔粘膜疾患	伊藤雅章	皮膚科

2 論文発表の実績

臨皮, 60 (7) : 554 - 557 (2006.6)	エトレチナート内服が有効であった皮膚硬化型慢性GVHDの小児例	田中英一郎 他	皮膚科
JUST HEALTH, 8号: 22 頁 (2006.8)	健康トラブルQ & A : ストレスがないのに突然 '円形脱毛症' になった	伊藤雅章	皮膚科
Br J Dermatol, 155 (6) : 437 - 445 (2006.7)	Male NewZealand Black / KN mice : a novel model for autoimmune - induced permanent alopecia ?	Hiroi A, 他	皮膚科
Visual Dermatology, 5 (7) : 672 - 674 (2006.7)	多毛 (多嚢胞性卵巣症候群)	橋本剛 他	皮膚科
Eur J Dermatol, 16 (4) : 420 - 422 (2006.9)	Severe gastrointestinal involvement in paraneoplastic pemphigus	Miida H他,	皮膚科
medicina, 43 (10) : 1648 - 1651 (2006.10)	毛でわかる内科疾患 多毛、脱毛、毛の形態	渡辺力夫	皮膚科
第69回日本皮膚科学会東京支部学術大会記念誌, 109 - 115 (2006, 12)	皮膚悪性リンパ腫に対する分子標的療法の現状	河井一浩	皮膚科
日皮会誌, 116 (13) : 1926 - 1932 (2006.12)	皮膚悪性リンパ腫の病期分類の問題点と予後解析	河井一浩	皮膚科
臨床皮膚科, 61 (3) : 286 - 295 (2007.3)	AD Forum アトピー性皮膚炎の経時的推移に関するアンケート調査研究	古江増隆 他	皮膚科
腎と透析 Vol. 60 No.5 835-840 2006. 5	透析患者の合併症とその対策 腎癌	若月俊二・高橋公太	泌尿器科
腎移植・血管外科 Vol. 17 No. 2 100-108 2006	導入療法 : 脾摘を行わないABO血液型不適合腎移植	斉藤和英 他	泌尿器科

2 論文発表の実績

EBMジャーナル Vol. 7 No.4 19-24 2006	これだけは知っておきたい 一般医における 排尿障害のEBM過活動膀胱の診断	小原健司	泌尿器科
日本医学館 p. 64-71, 2006	リツキシマブを用いたABO血液型不適合腎移 植ABO血液型不適合腎移植の新戦略	中川由紀 他	泌尿器科
Americall Jou rnal of ophtha lmology 142 : 591 - 596 , 2 0 06	Assess mment of aXonal degeneration al o ng the human visual pathway using diffu sion trace analysis	UekiS , F ujiiy , Mat suz awaH 他	眼科
Documenta op htha lmologic a 113 : 17 1 - 177 , 2006	Negative scotopic ERG and photopic ON response impairment in a patient wi th normal dark adaptation	Tanimot o N , Us uiT 他	眼科
新潟医学会雑 誌 (平成18年 8月)	超高磁場拡散強調磁気共鳴画像法による視 神経軸索機能の定量的評価	植木智志	眼科
頭頸部癌31巻 364-367	頸部リンパ節転移に対し頸部郭清を行い 原発巣は照射で加療した中咽頭・下咽頭 ・喉頭癌症例の検討.	佐藤克郎 高橋 姿 他	耳鼻咽喉科
頭頸部癌31巻 373-377	当科で経験した3重癌以上の多重癌症例 の検討	佐藤克郎 高橋 姿 他	耳鼻咽喉科
AIDS 平成18年4月	Complete vemoval of HIV-IRNA and prov il DNA feom semen by the swim-vp meth od: assisted repvoduction technique u sing spevmatoza fvee from HIV-1	高桑好一 他	産科婦人科
ペインクリニ ック 27(5):56 9-77, 2006 (5月)	神経因性疼痛に対するオピオイドとカンナ ビノイドの鎮痛作用の違い - 末梢神経損傷 モデルラットを用いた解析	河野達郎	麻酔科
新潟医学会雑 誌 (平成18年5 月)	サル脳虚血モデルにおけるフリーラジ カルスカベンジャーLY231617の逆行性 脳静脈還流の効果	伊藤 靖	脳神経 外科
脳神経外科 (平成18年6 月)	片側顔面痙攣に対する神経減圧術中の顔 面異常筋電図モニタリング所見と長期予 後	福多真史	脳神経 外科
J Neurosurg (1 Supple Ped iatrics) (平 成18年7月)	Preoperative simulation of epileptifo rm discharges: synthetic aperture mag netometry virtual sensor analysis of interictal magnetoencephalography dat a	大石 誠	脳神経 外科

2 論文発表の実績

Neurology平成18年,10月)	Crossed aphasia elicited by direct cortical stimulation	大石 誠	脳神経外科
日本臨牀 (平成18年11月)	脳動静脈奇形に対するガンマナイフ治療の検討	西野和彦	脳神経外科
Neurol Res (平成18年12月)	Ictal SPECT in supplementary motor area seizures	福多真史	脳神経外科
機能的脳神経外科 (平成18年12月)	両側淡蒼球刺激療法後の局所脳血流分布の変化	福多真史	脳神経外科
Neuroradiology (平成19年1月)	Modified buddy wire technique for coil embolization of posterior circulation aneurysms	西野和彦	脳神経外科
Clinical Neuroscience (平成19年2月)	fMRIと脳血管障害	藤井幸彦	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo) (平成19年2月)	Unusual Giant Cerebral Venous Varix Associated With brain abscess: Variant of Hereditary Hemorrhagic Telangiectas -Case Report-	大石 誠	脳神経外科
No Shinkei Geka (平成19年3月)	脳神経外科領域における新規画像診断法 -解剖・機能画像の進歩-	大石 誠	脳神経外科
接着歯学24(3), 179-184 (平成18年12月)	歯科用CAD/CAM CEREC3により製作されたラミネートベニア修復物の適合性	浅井哲也 他	歯の診療室
日本口腔インプラント学会雑誌 (平成19年3月)	新潟大学医歯学総合病院における高度先進医療としてのインプラント義歯	田口裕哉 他	インプラント治療部 摂食機能再建学分野
日本補綴歯科学会雑誌 (平成18年 4月)	煎餅の咀嚼回数を指標とした咀嚼能力評価法による義歯装着効果の評価	本間 済 他	摂食機能再建学分野 義歯(入れ歯)診療室
Journal of Periodontology (平成18年4月)	Fabrication of cultured oral gingiva by tissue engineering techniques with out materials of animal origin	Okuda K Yoshie H	歯周病診療室
Journal of Periodontology (平成18年10月)	A hepatocyte growth factor (HGF)/receptor autocrine loop regulates constitutive self-renewal of human periodontal ligament cells but reduce	Kawase T Okuda K Yoshie H	歯周病診療室
Ped Dent J, 17 (1): 100-105 (平成 19年 3月)	A case of eruption guidance for eruption disturbances of the bilateral second molars caused by supernumerary teeth	Iizawa Futabako	小児歯科診療室

計14
合計118

(様式第13)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 畠山勝義
閲覧担当者氏名	総務課長 中嶋恒夫
閲覧の求めに応じる場所	管理棟大会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧実績

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	国	0件
	地方公共団体	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	73.5%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		12,309人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者数		7,851人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		2,265人
	D：初診の患者数		22,670人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 条及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員：専任 (1) 名 兼任 (2 6) 名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> イ 医療事故及びインシデント情報の収集、分析及び提供 ロ 医療の安全管理に係る教育及び研修の実施 ハ 医療事故防止委員会の運営 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 組織として事故防止に取り組む <ol style="list-style-type: none"> ① 医療事故防止委員会：病院長を中心とした、事故防止・医療の安全性の向上に関する各種重要事項を審議決定する機関 ② 医療安全管理部：医療事故防止委員会の事務局機能を担うとともに、事故防止に関する具体的業務に当たる。 ③ 全部署にリスクマネジャーを配置 (病棟、中央診療部門、薬剤部、事務部等)：各部署のリスクマネジメントの責任者として、当該部署における事故防止・安全管理の中心的役割を担う。 (2) 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる 発生したヒヤリハット等は、インシデントレポートで情報を収集する。収集された情報を分析し、事故防止対策の企画・実施に繋げ、フィードバックさせる。 (3) 事故防止のための教育システムの整備 全職員が安全管理システムを周知し、基本的ルールを修得できることと個々の担当・責任分野における改善システムを図ることを目的として計画的な教育・研修を実施する。 (4) 事故発生時の対応 倫理性の確保、患者の尊重に努め、病院全体で組織としての判断で対応する。 (5) 安全管理に関する指針の閲覧 患者等が当該指針の閲覧を希望する場合は、閲覧に供する。 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 2 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療事故防止委員会及び医療事故対策委員会 (1) 医療事故の防止対策に関すること。 (2) 医療事故の防止に係る教育及び研修に関すること。 (3) 医療事故の防止マニュアルに関すること。 (4) 医療事故としての取扱いの判定に関すること。 	

(様式第 13-2)

<p>(5) 医療事故発生時の対応等に関すること。 (6) 発生した医療事故の原因究明等に関すること。</p>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 14回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 医員・研修医を対象とした研修会(2) 看護師を対象とした研修会(3) 医師，歯科医師，看護師を対象とした研修会(4) 全職員を対象とした研修会(5) 全職員を対象とした講演会	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 各部署のリスクマネージャー等による事故防止のための相互チェックの実施(2) 医療安全管理部の部長，副部長及び専任リスクマネージャー等（9名）による毎週1回の検討会の実施(3) 各部署のリスクマネージャー出席によるスクマネージャー全体会議を隔月開催(4) 研修医に対する指導体制の整備	